

宇宙甲子園缶サット部門全国大会地方予選会 群馬大会規定 2025年版

● 実施内容及び評価方法

- ドローンにより上空に運ばれそこから投下される缶サットの cool さを競います。何をもちて cool とするかも含め、各参加チームで検討を行い実施してください。
- 評価対象は缶サットとそのミッションです。打ち上げに使用するロケットは評価対象とはなりませんのでご注意ください。
- 事前プレゼン（ミッション定義書・動画・その他補助資料）、打上実験、事後プレゼンにより評価を行います。
- 事前プレゼン：事前に GSA 事務局あてに提出していただきます。
 - ☆ ミッション定義書・動画・その他補助資料にて、「実施する予定の cool なミッション」に関して 10 分以内に明確にご説明ください。ミッションの目的及び意味/意義、缶サット構造/仕組み、期待される成果などに関して説明されていることが望ましいです。関連して添付資料（書式自由）をご提出いただくこともできます。
 - ☆ ミッション定義書は定型フォーマットとなりますので、求められた情報を記載してください。
- 打ち上げ実験：ドローンを用いて行います。
 - ☆ 缶サットのサイズは以下のレギュレーションに従ってください。
 - ◆ 缶サットは約 50m の高さから投下します。
 - ◆ 缶サットの全体サイズ（パラシュート他の付属部品含む）は、外形 68mmφ 以下、高さ 124mm 以下とします。突起物等もこの範囲に収めてください。また柔構造の場合は抑えて畳んだ状態でこのサイズ以下としますが、ロケット気体中で膨張し、放出時に引っかかって落ちてこないこともありますので、十分にご注意ください。
 - ◆ 缶サットの総重量（パラシュート他の付随部品含む）は 250 g 以上 300 g 以下とします。
 - ◆ 缶サットには必ず、パラシュート等の減速機構を取り付け、落下速度が 5m/s 以上 10m/s 以下となるようにしてください（事前試験を行い、ミッション定義書にて示してください）。ただし落下速度がこの条件を満たす場合は全体構造が減速機構を兼ねていると認めます。

➤ 事後プレゼン

大会会場にて行います。事前プレゼン及び打ち上げ実験の内容を踏まえ、チームがチャレンジした cool なミッションに関する説明を行ってください。(発表 10 分、質疑 5 分を予定しています。)

● チーム及びチーム構成

- 高校生部門への参加は 1 校から 1 チームのみ受け入れます。1 チームは参加校に在籍する高校生 3~4 名により構成されることとします (1~2 名、5 名以上は認めません)
- 小学生・中学生・高専 4 年以上・大学生・社会人の参加は一般の部になります。

● 本規定に関しまして

本規定は事務局および参加校との調整により、今後内容を改定することがありますのでご了承ください。